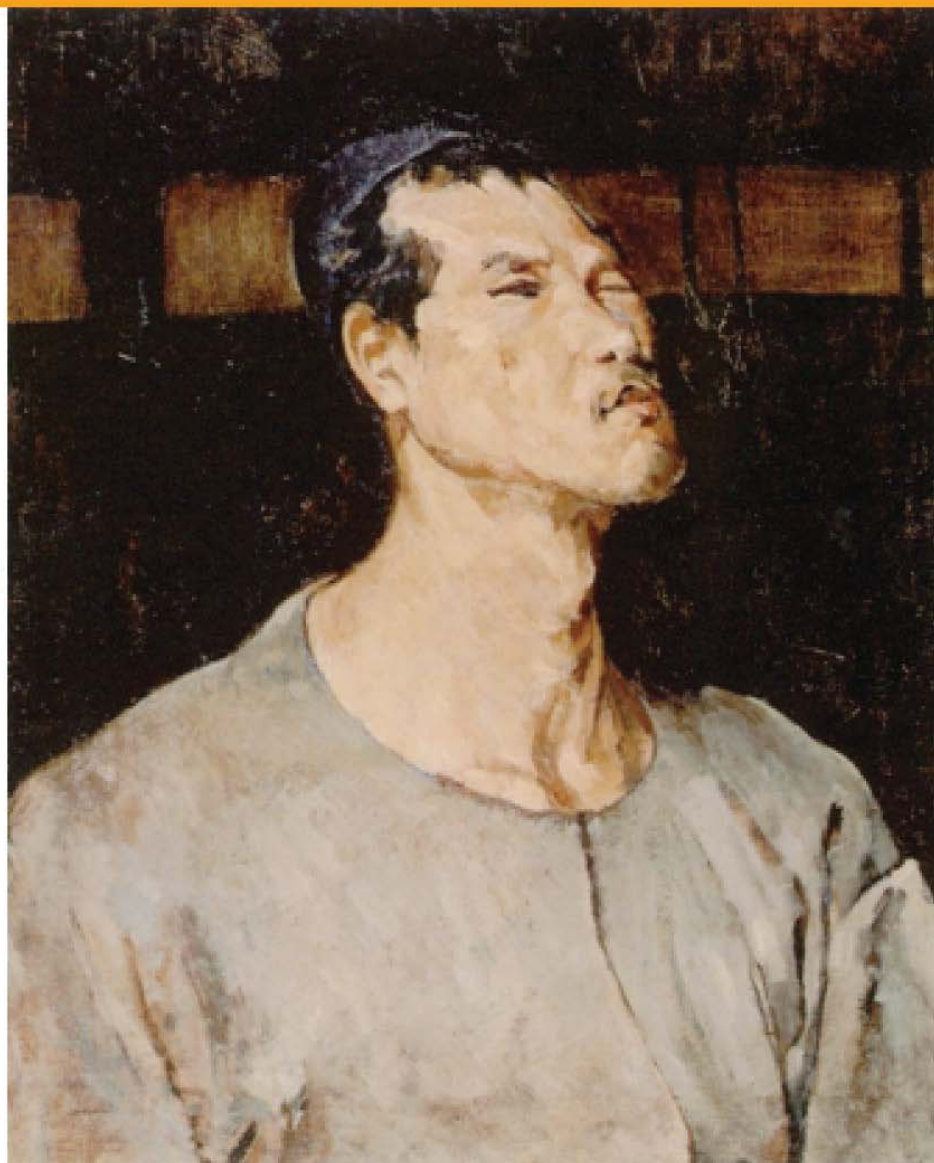


press release

KENBI
=HIROSHIMA
PREFECTURAL
ART MUSEUM
COLLECTION

ケンビの宝物。

名作って何だろう？



幾光《帽子をかむる自画像》1943(昭和18)年

美術館のこども部屋 ver.1

Children's Room in the Museum ver.1 The Treasure of KENBI. What is a Masterpiece?

広島県立美術館
所蔵作品展 2013 Vol.02

平成25年 9.5 木曜 — 12.25 水曜
(2013)

広島県立美術館第Ⅱ期所蔵作品展

美術館のこども部屋 ver.1

ケンビの宝物。名作って何だろう？

会 期:平成25(2013)年9月5日(木)～12月25日(水)

休 館 日:月曜日(※特別展会期中は無休)

開館時間:9:00～17:00

※9/5～10/14の金曜日は20:00まで開館

※10/15～3/31の金曜日は19:00まで開館

※入館は閉館30分前まで



- JR広島駅より約1km
- 広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車約20m

名勝「縮景園」とともに歩む アートの社
広島県立美術館
 Hiroshima Prefectural Art Museum
 〒730-0014 広島市中区上輪町2-22 TEL.(082)221-6246
<http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/> FAX (082)223-1444

広島駅新幹線口から、ひろしまめいぷる一歩
 (市内循環バス/9:00～17:30の間、毎時0分、30分発。
 「広島県立美術館前」下車。

press release

【広島県立美術館について】

旧広島藩主・浅野家が縮景園の一角に開設した日本最古の私立美術館といわれる「観古館」。観古館が1945年8月6日に原子爆弾によって焼失し、その跡地に1968年、広島県立美術館は建設・開館しました。今年には観古館の開館（1913年10月5日）の100周年に当たります。

そして、広島県立図書館の移転後、両施設の敷地を統合して1996年にリニューアルオープンし、今日の姿となりました。広島市中心部に位置し、緑ゆたかな国の名勝・縮景園に隣接した都市型美術館として、様々な特別展を多数開催。広島にいながらにして、世界の美術を楽しむことができる美術館です。



【広島県立美術館 所蔵作品について】

広島県立美術館では、①広島県ゆかりの美術 ②1920—1930年代の美術 ③日本とアジアの工芸作品の3つを作品収集の柱として、現在では4000点を超える作品を所蔵しています。大作、サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》や重要文化財である《伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)》など、多くの名作を所蔵しています。



ジャンルを問わずテーマによって所蔵作品展を企画。お客様からは、これまでにない切り口で、作品の新たな魅力を発見できると、期待する声も。そこで、今年度も特別展と連動を図る展覧会や広島で開催される館外のイベントとの連携も重視し、5つの所蔵作品展を開催します。



また、子ども達への普及事業として平成23・24年と「ワクワク！ドキドキ！夏休み子ども美術館」を開催、所蔵作品を子どもにも楽しめるように紹介するとともに、多彩なワークショップを開催してきました。今年度は、子ども向け所蔵作品展として、新たに「美術館のこども部屋」を開催。様々な年齢層の方にお楽しみいただけるよう、企画しております。



「所蔵作品展はいつも一緒でしょ？」と思われる方にこそ見ていただきたい、広島県立美術館の魅力ある作品達。ぜひ、所蔵作品展にも足をお運びください。

重要文化財
伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)

press release



【「美術館のこども部屋」について】

美術館のこども部屋は、美術館の中にこどもが楽しめる展示室＝こども部屋を作ろう！という展覧会。

今、こども達は多くの情報に囲まれ、知りたい事にすぐ手が届く環境にあります。その日々の中で、「考えること」が苦手になりつつある、こども達。美術館では、好きな作品を見つけたり、さらに作品について考えたり、そこには正解も不正解もありません。自由に楽しむことができる、それが美術鑑賞の魅力です。

しかし、自由に楽しむためには考える力が必要です。美術鑑賞では、この「考える力」を育み、時には作家や時代背景について学ぶことで歴史を学び、見たことのない作品との出会いは新たな感性を生み出します。美術館では、本物を見るという体験を通して、こども達にとって大切な「自由に考える力」を育てます。

本展では、作品を楽しむためのヒントやクイズと一緒に作品を鑑賞することで、美術作品をより身近にお楽しみいただけます。

また、「こどもと一緒にアートを楽しんでみたい。でも、静かにしてられないかも・・・」と、よくお話を聞きますが、今回はこども向け特別バージョンです。お子さんと一緒に本物のアートを前にたくさんお話していただければ幸いです。

【展覧会概要】

美術館のこども部屋では、当館のコレクションをいつもとちょっと見方を変えてご紹介！こどももおとなも大歓迎です！

第1回目となる今回は「名作」について考えます。美術館では、とても貴重な作品を集めて、たくさんの人に見てもらうために展覧会をしています。作品はどれも大切な宝物です。現在、広島県立美術館では、約4200点もの美術作品をコレクションしています。中でも、名作と呼ばれる作品たちがあります。

皆さんは、名作と聞いてどんな作品を思い浮かべられますか？本展では、名作とは何なのかという疑問に向かいながら、作品を楽しむための方法を3つテーマから考えます。本展を鑑賞した後、もっと展覧会や美術館に行きたくなくなるはず。さあ、こども部屋で遊んでみましょう！

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

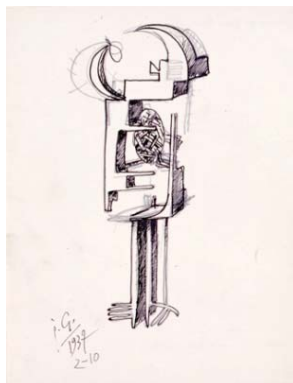
テーマ①

名作ができるまでって見たことある？

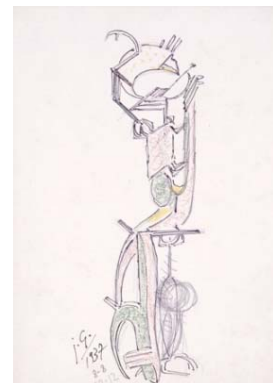
不思議なかたちの彫刻に、何が描いてあるのかわからない絵。作家は何を考えて、作品を作ったのでしょうか。このテーマでは、作品ができるまでのプロセスの一部をご紹介します。作品と一緒に作品になる前のデッサンや設計図、紙型も展示します。それらと作品を見比べることで、今まで考えもしなかった作品の姿が見えてくるかも？！



ジュリオ・ゴンザレス
《人物(鏡の前の女)》
1934年



ジュリオ・ゴンザレス
《鏡の前の女IV》
1937年



ジュリオ・ゴンザレス
《鏡の前の女の習作 I》
1937年

テーマ②

宝物の箱ってどんな箱？

美術館にとって、作品は大切な宝物。今回は、あまり目にする事のない、作品が入っている箱たちをご紹介します。作品の形や大きさに合わせて作られた箱、もちろん機能的ではありますが、この箱を見ているとそれだけではない作品への「思い」を感じることができます。



《伊万里柿右衛門様式色絵馬》
17世紀後半



《伊万里柿右衛門様式色絵馬》の箱

ケンビの宝物。
名作って何だろう？

テーマ③

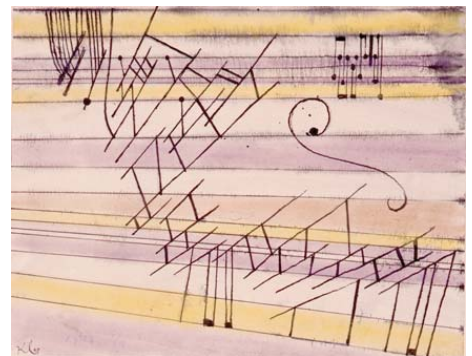
名作ってなんだろう？

作品を見るとき、あなたはどんなことを感じますか？作品の好きな部分、嫌いな部分を見つけながら、あなただけの作品タイトルを考えます。3つ目のテーマでは、今回は大胆にもキャプションを掲示しません。まずは、作品をじっくり見てみる。鑑賞の原点に立ち返る展示です。

そこには、名作とは何かの答が隠されているかもしれません。お子さんと一緒に作品について、たくさんお話をしてみましょう。



寺田政明《二つの道》
1954(昭和29)年



パウル・クレー《ある音楽家のための楽譜》
1924年
※展示期間 9月5日—11月3日

press release

【関連イベント】

[トーク]

友の会ボランティアガイド

日時: 平日14:00/土日11:00、14:00

会場: 2階展示室(全室)

※事前申込不要、要入館券

[ワークショップ]

関連ワークショップに参加して、もっと作品を楽しもう！あなたもアーティストになれるかも！？

当館のコレクションをヒントに子ども・家族向けのワークショップを開催します。美術系のワークショップといえば、作る事が中心になりがちですが、今回のワークショップは「見ること・作ること」の両方を大切にしています。これから美術館を楽しむためのヒントが盛りだくさん。お子さんやお孫さんと一緒にお気軽にご参加ください。

※要事前申込

※6歳未満の方には保護者の方の同伴をお願いします。

受付場所: 2階所蔵作品展入口

受付: 開始時間30分前

料金: 無料

定員: 15名

申込方法: ワークショップ番号、ワークショップ名、参加者・保護者のお名前、年齢(こどものみ)、電話番号を添えて、お電話にてお申込みください。

広島県立美術館 Tel: (082)221-6246 (受付時間9:00~17:00)

①自分を描くってどんなこと？

私とあなたを描いてみよう。

画家はよく自分を描きます。自分を描くってどんな気持ちかな？家族の顔も描いてみよう。

日時: 9月15日(日) 10:30~12:00

対象: おとな+子ども(対象: 4歳~小学生)

※2人以上でご参加ください。

※手鏡を参加される人数分ご持参ください。

②音が見えたらどんなかたち？

聞こえる音を描いてみよう。

音楽が大好きパウル・クレー。実際にヴァイオリンの音色を聴きながら、音を絵にしてみよう。

日時: 9月21日(土) 11:30~13:00

対象: 子ども(対象: 4歳~小学生)

③どこから見たい？

いろんなところからみてみよう。

いろいろなところから作品を見てみると、今まで見えなかった作品の姿がみえてくる。本展に展示されている立体作品をあなただけの視点で描いてみよう。

日時: 10月13日(日) 10:30~12:00

対象: 子ども(対象: 4歳~小学生)

④美術館ってどんなところ？

美術館でクイズ大会！

美術館でのマナーを学びながら、クイズ形式で作品鑑賞を楽しみます。

日時: 10月27日(日) 10:30~12:00、12月15日(日) 10:30~12:00

対象: 子ども(対象: 4歳~小学生)

※本ワークショップのみ10月27日(日)、12月15日(日)の両日開催いたします。内容は2日間とも同じです。お申込みの際は、参加希望のお日にちもお伝えください。

⑤こんな風景みたことある？

みたことのない風景を描いてみよう。

画家に挑戦！あなただけの不思議な風景を描いてみよう。

日時: 11月10日(日) 10:30~12:00

対象: 子ども(対象: 4歳~小学生)

⑥あなたなら何をいれる？

いれたいものを想像しよう。

へんなかたちや美しいかたち。あなたならここに何をいれる？作品を見ながら考えてみよう。

日時: 11月24日(日) 10:30~12:00

対象: 子ども(対象: 4歳~小学生)

⑦あなたのまわりにあるものは？

コラージュに挑戦してみよう。

シュヴィッターズのコラージュ作品を鑑賞し、写真や雑誌や服などを切って、貼って、新しい作品を作ってみよう。

日時: 12月1日(日) 10:30~12:00

対象: おとな+子ども(対象: 4歳~小学生)

※2人以上でご参加ください。

※いらなくなった写真・雑誌・本・衣類(はさみで切れるもの)などをご持参ください。(ご持参いただいたものを材料にします。)



press release



【開催概要】

展覧会名称

日本語タイトル: 美術館のこども部屋ver.1「ケンビの宝物。名作って何だろう？」

英語タイトル: Children's Room in the Museum ver. 1: The Treasure of KENBI. What is a Masterpiece?

会期

平成25(2013)年9月5日(木)～12月25日(水)

休館日

月曜日(特別展会期中および祝日は開館)

開館時間

9:00～17:00

※9/5～10/14の金曜日は20:00まで開館

※10/15～3/31の金曜日は19:00まで開館

※入館は閉館30分前まで

会場

広島県立美術館 2階展示室(第4室)

開催クレジット

主催: 広島県立美術館、乃村工藝社・イズミテクノ美術館活性化共同事業体

協力: 特定非営利活動法人 子どもコミュニティネットひろしま

会期開催中の特別展

「ピース・ミーツ・アート！」展 7月20日～10月14日

「ゴッホ展 空白のバリを追う」7月22日～9月23日

「シャガール展」11月3日～12月25日

同時開催の所蔵作品展

「紹介します。広島県立美術館の新しい仲間たち—平成24年度新収蔵作品を中心に」10月19日～12月25日

入館料

一般:500円(400円) 高・大学生:300円(240円) **高校生以下無料**

※()内は前売り・団体20名以上

※身体障害者手帳をお持ちの方や65才以上の方、県内の大学に在学する外国人留学生などは無料。

※特別展入館券で所蔵作品展もご覧いただけます。

※東日本大震災で避難して来られた方は無料です(1階総合受付でお申し出ください)。

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail. keiko_yamamoto@nomurakougei.co.jp (山本宛)

担当 事業推進課 山本恵子